

子育て応援出前講座

昨年策定した「宮っこ未来ビジョン」をもとに、平成18年9月に地域出前講座、10月～12月に企業出前講座を6回、計7回の出前講座を開催しました。

今回の出前講座では、家庭の保護者のもとより、地域の皆様や普段企業人として忙しく勤務されている方にも、家庭教育の大切さを考えてもらおうと、「子どもとの上手なかかわり方」「青年期の人づくり」などのテーマで講座を実施しました。



星が丘地区児童生徒連絡協議会
9月9日(土)



(株) 渡邊有規建築企画事務所
10月19日(木)



(株) 小林会計事務所
10月31日(火)



藤井産業(株)
11月9日(木)



鈴運メンテック(株)
11月20日(月)



(株) 日本栄養給食協会
11月21日(火)



(株) 安藤設計
12月2日(土)

参加者の方々からは、「子どもの成長をよく理解して、かかわることが必要であると感じた。」「子どもの叱り方で悩んでいたのが、その悩みが解消した。」などの感想をいただきました。今後も出前講座を継続しますので、希望される方は教育企画課までご連絡ください。

もったいない運動

平成18年8月3日(木)、教育懇談会において、市内小中学校から40名の子どもたちが集まり「もったいない運動」について話し合いが行われました。懇談会では、もったいない運動がもっと広がるようなコンテンツの実施など、様々な提案がありました。



教育懇談会の様子



教育委員会としては、懇談会でいただいた小中学生の皆さんの意見を具体的に反映できるように、学校を支援してまいります。また、学校においても、一人一人がもったいない運動に積極的に取り組めるような啓発活動も行ってまいります。

「宮っこだより」に関するご意見ご感想はこちらまで

編集発行：教育委員会教育企画課 〒320-8540 宇都宮市指1丁目1-5
TEL：028-632-2707 FAX：028-639-7159 mail：u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp

第4号の印刷費1,548千円(消費税別)



宇都宮市教育委員会広報紙

宮っこ 宮っこ特集号 だより

子ども京門獅子舞(宇都宮市立国本西小学校)
【平成18年11月3日 宇都宮市伝統文化フェスティバル】

第4号 平成19年2月20日発行

「宮っこ」を語ろう 「宮っこ」をはぐくもう



教育委員 藤原宏史

「宇都宮はよきところ、きほひと云ふ都に志ばしいこひぬ」これは昭和15年頃、林芙美子が残したことばです。当時は既に作家として名声を得ていましたが、「放浪記」の主人公として貧困と放浪に生きた彼女が「宇都宮はよきところ」と記しているのです。

私もこの地に住むようになったのは、中学時代からですが、結局宇都宮市が終の棲家になりました。それは、優れた自然環境、豊かな歴史文化などの生活環境とともに、多くの素晴らしい友人に出会えたことが大きな理由です。

しかし、このような宇都宮の素晴らしさを宇都宮市民自身が十分に気付いていないように思われます。自分の地域に誇りをもつことは、温かな人間関係を育て、豊かな社会を創る源であると思います。

そこで、本号では、「宮っこ」へのインタビューなどを通して、豊かな「宮っこ」をはぐくむためには、どのような支援ができるかを市民の皆様と考えていきます。

本特集が、様々な方が世代を超えて「宮っこ」について、大いに語っていただくきっかけづくりになることを願っています。

目次

「宮っこ」を語ろう

- ◆「宮っこ」のイメージ
1000人に聞きました。……………2
- ◆未来の「宮っこ」むかしの「宮っこ」……………4
- ・子どもたちが考える未来の「宮っこ」像
- ・むかしの「宮っこ」

「宮っこ」をはぐくもう

- ◆「宮っこ」をはぐくむ人たち……………6
- ◆豊かな心は豊かな体験から……………8
- ◆たくましさをはぐくもう……………10
- ◆子育て応援出前講座、もったいない運動……………12

私の子どもの頃は、しつけが厳しかったような気がします。また、家の手伝いや年少者の面倒を見ることも当たり前でした。今は、子どもが少なく、みんなに大事にされていますね。



しかし、それに甘えることなく、家庭や地域で自分の役割を見つけ、積極的に行動して欲しいです。

宇都宮市文化財ボランティア 中神 秀夫さん

まじめで思いやりがあるという「宮っこ」の特徴をよく表していると思います。本市の中学生も、寝む優しく、何事にも一生懸命に取り組む姿勢が見られます。



積極性については、「控えめで出しゃばらない」という長所としても見ることができそうです。

泉が丘中学校長 犬塚 恒士さん

宇都宮に2年住んでいます。留学生との交流も活発で、優しい人が多いと思います。バイトで接客した年配の方が覚えてくれて、街中で声をかけてくれたのがとてもうれしかったです。日本で出身を尋ねられたら、「宇都宮です。」と答えたいです。



イランからの留学生 アミルホスラビ・マンダナさん

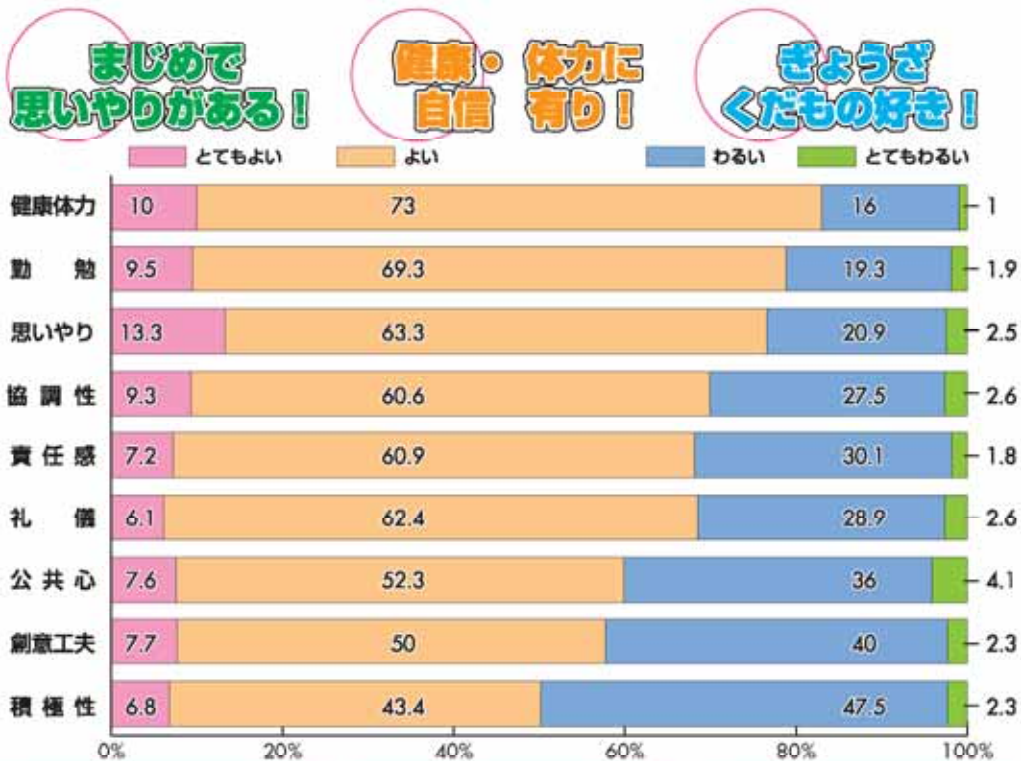
宇都宮大学の近くに住んでいます。峠地区は、お年寄りや農家、主婦の方たちが活発にまちづくり活動をしていて、パワフルです。一方で控えめな方も多く、色々な特技や技能を持っていても、それがあまり知られていないのもったいないなと思います。



宇都宮大学3年 古川 真衣さん

市民がみずから感じている「宮っこ」像を知るため、生涯学習センター利用者、各種イベント参加者の方にご協力をいただきました。参考にしてみてください。

め、平成18年12月に市内中学校の生徒・保護者、対象にアンケート調査を実施した結果です。1000名ください。



わたしの誇れる宇都宮人

回答のうち、宇都宮市出身の人の上位3名をあげました。歴史上の人物としては、宇都宮頼綱や本多正純、蒲生君平などが入っています。

- 1位 渡辺貞夫 181票
- 2位 立松和平 47票
- 3位 森昌子 23票
- 総票数 668票

わたしの好きな食べ物

なんといっても餃子が1位でした。2位のいちごをはじめ、くだものを答えた総数は241票となり餃子を上回ります。

- 1位 ぎょうざ 184票
- 2位 いちご 98票
- 3位 すし 79票
- 総票数 981票

宇都宮市民の誇れること

「自然が多い」というのが印象的です。また、「まじめ」や「思いやり」など、市民性のよさを答えたものが54票ありました。

- 1位 ぎょうざ 85票
- 2位 自然が多い 74票
- 3位 災害が少ない 24票
- 総票数 502票

「宇都宮市民として誇れること」の1番が「ぎょうざ」であるのは、これまでの町おこしの努力の成果だと思います。宇都宮には食べ物以外にも誇れるものがあるはず。宇都宮威もその1つになりますね。多くのお客様をおもてなしの心でお迎えしたいものです。



商工会議所 吉成 俊夫さん

「宮っこ」は、スポーツが大好きですね。スポーツで大切なチームワークを、「宮っこ」のもつ協調性や責任感が支えていますよ。



私も、地域の皆様とともに、いろいろなスポーツの盛衰に今後とも取り組んでいきます。

体育指導委員 柳田 利夫さん

渡辺貞夫は世界的に有名で、誇れる宇都宮人の代表ですね。宇都宮は千年もの古い歴史を持ち、多くの先人達がこのまちをつくってこられました。歴史上の人物が回答にあがってくるように、もっと市の歴史を広めていきたいと思っています。



文化財保護審議委員 堺 静夫さん

「宮っこ」のみんながいちごに関心を持ってきて、大変うれしいです。毎年、近くの幼稚園でいちご狩りをしてもらっていますが、「宮っこ」の変わらぬ笑顔に癒されています。これからも安心・安全ないちごを作り、皆さんに食べていただきたいです。



いちご専門農家 黒須 俊夫さん

子どもたちが考える未来の「宮っこ」像



「宮っこ」について、本市の子どもたちはどのようなイメージをもっているのでしょうか。宇都宮市内の中学生5人に現在の「宮っこ」の様子と未来の「宮っこ」像について話し合ってもらいました。

実施日：平成18年12月27日
実施場所：市役所14A会議室

参加者：陽西中2年 福田愛莉さん、星が丘中2年 山川真生さん、泉が丘中2年 田中衆さん、晃陽中2年 手塚ひかるさん、若松原中2年 男澤嶺さん（司会：学校教育課 桑川指導主事）

司会 皆さん、こんにちは。今日は、「宮っこ」について、皆さんが白しろ考えていることを話していただければと思います。まず、宇都宮に暮らしている人の特徴について、話してください。

現在の「宮っこ」について

手塚 私の地域では、皆さんが進んであいさつをしてくださるので、とても気持ちがいいです。特に朝、通学途中などに道で会う方々から「おはよう。」とあいさつされると、私たちが「おはようございます。」と自然にあいさつができて、一日中気持ちよく過ごせます。

地域の方とは、学校で交流する機会があるので、顔を合わせることも多いです。

福田 私の地域でも、年配の方が「おはようございます。」「お帰りなさい。」と進んで声をかけてくれます。

高校生や若い人は、あまりあいさつをしないかもしれませんが、私もそうですが、お互いに恥ずかしいなという思いがあるからでしょうか。

中学校と養護学校との交流や地域全体のお祭りなど、地域の方々とふれあう機会もたくさんあります。

陽西中 福田さん

司会 そのほかの点ではどうでしょう。

男澤 他の県から転校してきた友達は、「宇都宮市は、田んぼや農家も多いけれど、人口も多く、商店などもたくさんあって活気がある。」と言っていました。

地域との交流という点では、音楽の授業に地域の方が来て、お琴を生演奏してくださったことがあります。僕たちにもやさしく弾き方を教えてくださいました。

田中 僕の地域の体育祭では、小学校の子ども会ごとに中学生が地域の方から依頼されて走ります。

みんなから期待されるので、子ども会を背負っているような感じがしてドキドキします。あいさつについては、やはり年配の方々のほうが気軽に声をかけてくれますね。

一方で、「宮っこ」のあまりよくない面として、歩道の幅いっぱいになんて歩くなど、交通マナーの悪い点などがあると思います。

山川 自転車の交通マナーについては、自分でも気をつけたいと思います。

私は、学校の社会体験学習で国際交流協会に行き、外国のお客様をお迎えしたことがあります。宇都宮が、外国の方との交流が多い市であることを知りました。

また、他の場所で体験した友達も「職場の皆さんは、とても温かく接してくださった。」と言っていました。宇都宮の大人の方は、親切な方が多いと思います。



泉が丘中 田中さん

今まで経験したことについて

司会 社会体験学習や地域の方々とのふれあい以外のことで、宇都宮の人たちについて感想をもった経験がありますか。

男澤 小さいころ、スーパーで転び、荷物をばらまいてしまった時、高校生が大学生くらいの若い人に「気をつけてね。」と優しく拾ってもらったことがあります。

手塚 レジで順番待ちの時に、前の人に譲ってもらったり、知らない人に図書館で高いところの本を取ってもらったりしたことがあるので、宇都宮には優しい人が多いと思います。

福田 私も、自転車で通学しているとき、前を歩いていた高校生が道をふさいでいて困っていたら、すぐに気付いてくれて「ごめんね。」と言ってもらったことがあります。

田中 「宮っこ」は、困っている人への思いやりなどに関しては、年配の人だけでなく若い人たちも割と自然にできると思います。

山川 私も、買い物などに行ったとき、みんな順番をよく守り、マナーが身に付いているように感じます。

未来の「宮っこ」について

司会 皆さんは、将来「宮っこ」がどのようになって欲しいと考えていますか。

手塚 皆さんの話からも「宮っこ」には、温かい言葉かけや思いやりなどのよさがあると思いました。これからもよい面を伸ばしていったらいいのではないかと思います。



星が丘中 山川さん

田中 あいさつなど自分ができることを毎日続けて、自然に行っていくことが大切だと思います。相手が気付いてくれなくても思いやりの心をもち続けていけるといいなと考えています。

山川 一人一人がしっかりと意見を言えるということも大切ですが、お互いに声をかけ合い、人々が理解し合えることも大切です。

そして、外国の人も住みやすい温かいまちづくりができればいいなと思います。

福田 私は、誰もが地域の行事に積極的に参加して、伝統文化や「宮っこ」のよさを年下の人たちにも伝えていくことが大切だと考えています。自分自身もぜひそうしたいと思っています。



若松原中 男澤さん

男澤 僕は、姉から宇都宮の歴史について書かれた本を借りて読んで、新たに分かったことがたくさんありました。みんなが宇都宮のことをもっとよく勉強し、自信をもった「宇都宮人」になればいいなと思います。

司会 私たち自身も知らないことがまだまだたくさんあるかもしれません。宇都宮に住んでいることに誇りをもてるような「宮っこ」になるといいですね。今日は、本当にありがとうございました。

コラム

むかしの「宮っこ」

宇都宮は、江戸時代には譜代大名が城主をつとめ、五街道のうち「奥州街道」と「日光街道」が分岐する、交通・軍事・文化の拠点として関東一の賑わいを誇っていたといわれています。日光社参時には將軍の宿泊地となり、秋の「菊水祭」をはじめとする多彩な行事もあり、「宮っこ」たちは、まちの経済や文化を支える重要な役割を担っているのだという、自覚と誇りをもっていたことでしょう。

宇都宮市は、昭和30年ごろいわゆる「昭和の大合併」によって現在の形になり、もうすぐ河内町、上河内町との合併により新しい時代を迎えます。

宇都宮市の未来のために、自覚と誇りをもった「宮っこ」を、全ての市民の皆様と一緒にくんでいく必要があります。

「宮っこ」をはぐくもう

平成17年度に策定した本市人づくりの指針「宮っこ未来ビジョン」においては、「心豊かでたくましく生きる人を目指して」を基本理念としています。

この「心の豊かさ」とは、家族や友達のもとより、様々な価値観をもつ人や自然などと共によりよく生きるために大切なものであり、「たくましさ」とは、自らの目標実現に向けて挑戦するために必要なものです。

このコーナーでは、現在、市内各地域において「宮っこ」をはぐくむ活動をしている方を、次コーナー以降は、「心の豊かさ」「たくましさ」をはぐくむための活動を紹介します。

スポーツ指導員

昭和地区で、体育指導員として活動しています。

私はバレーボールを続けていますが、人それぞれ自分に合ったスポーツを、いつでもどこでもというように、生涯続けていければ素敵ですね。

一人でも多くの人がスポーツに親しめるように、これからも活動していきます。



昭和地区
小倉 ひろみさん

子育てサポーター

地域で、子育て中のお母さんの応援をしたいので、子どもが幼稚園に行っている時間を活用して、親子のひろば「はぐはぐ」の子育てサポーターをしています。

子育てを頑張っているお母さんのココロが軽くなってくれるとうれしいですね。



平石地区
市民センター
はぐはぐサポーター
井上 久美さん

「宮っこ」をはぐくむ人たち

交通指導員

晃宝小学校で、毎朝、登校時の交通指導を行っています。雨の日や風が強い日は、子どもたちが交通事故に遭わないよう、特に気を付けています。

子どもたちが学校で元気に頑張れることを願いながら、子どもたちの安全を見守っています。



晃宝小学校
佐藤 和嘉子さん

魅力ある学校づくり地域協議会

清原東小学校「魅力ある学校づくり地域協議会」では、学校の支援や地域ぐるみの活動を進めています。これまで、「ひむろふれあい発見ラリー」などの地域での体験活動や、防犯組織の情報交換などに取り組み、地域の方が気軽に子どもたちの育成に協力できる雰囲気ができつつあります。これからも、より多くの方が学校に関わるようにしていきたいと話しています。



清原東小学校
魅力ある学校づくり
地域協議会
渡邊 弘幸さん

スポーツクラブ マネージャー

友遊いずみクラブは、泉が丘地区の皆さんでつくるスポーツクラブです。現在、子どもから大人の方まで、約1,300名の方が入会し、卓球やエアロビクス、太極拳、バドミントンなど各種スポーツ教室や講座等を放課後の体育館や校庭等を使って開いています。

皆さんも、私たちと一緒に、スポーツを楽しんでみてはいかがでしょうか。



友遊いずみクラブ事務局長兼
クラブマネージャー
本間 秀雄さん

スクールガード・リーダー

登下校時に子どもと同行したり、防犯教室で子どもたちに不審者からの身の守り方を教えたりにしています。教えたことが役に立ち、ヒヤリ事故で済んだ事案がありましたが、ほっとすると同時に身が引き締まる思いでした。

多くの子から元気なあいさつをしてもらったり、声をかけてもらったりするのが、何よりもうれしいです。



藤瀬小学校
種村 貴侖さん

文化財 ボランティア

市内の学校や各種団体からの要望に応じて、史跡や天然記念物などの文化財を解説しています。

生き生きとした子どもたちの表情が微笑ましく、共に学べる楽しさを実感しています。

文化財を通して「宇都宮を愛する心」を次代に語り継ぐサポーターとして貢献できればうれしいです。



宇都宮市文化財
ボランティア協議会
賀川 佳子さん

いろいろな活動をとおして、「宮っこ」をはぐくんでいる方の紹介です。これらの活動をヒントに、皆さんも人づくりに取り組んでみませんか。

出前授業の企業人

市内中学校の「総合的な学習の時間」で、海外とつながりのある職業人として、お話をさせていただきました。

仕事や製品に対する理解だけでなく、「職業や働くことの意味」などを、生徒さんたちが考えられるように話をしました。

生徒さんたちには、学習や運動はもとより、将来の夢に向かって、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思っています。



東京ガス(株)
田辺 勇治さん

ボランティア・コーディネーター

宇都宮市民活動サポートセンター(サボセン)で、いろいろな市民活動に関する案内、やってみたい、やってもらいたいなどの相談や実際の活動のコーディネートをしています。

「資格も経験もないけど…」と自信なさそうに相談に見えた方が、自分にあったものを見つけ生き生きと活動している姿を見ると、コーディネーター真利につきますね。



宇都宮市民活動
サポートセンター
松井 みゆきさん

地域住民として、子どもたちにかかわる活動をしたい皆さんのために、地域活動の入門書「子どもたちをはぐくむ地域活動ガイド2007」を平成19年3月に発行します。活動の基本的なノウハウや先進的な事例などを載せていますので、ご希望の方は生涯学習課(TEL.028-632-2678)までご連絡ください。

豊かな心は 豊かな体験から

学校の中では・・・

子どもの読書活動をサポートする学校図書館司書

子どもと本をつなぐかけはしとして、市内全小中学校に専任の学校図書館司書が配置されています。子どもたちがより多くの本と出会うことができるように、公立図書館から届けてもらう本を選んだり、学校の先生と一緒に読書に関心を高めるような活動をしたりしています。

トビダス美術館

宇都宮美術館の学芸員が美術館を飛び出して、学校の先生と一緒に授業を行います。美術館の収蔵作品や作家について学ぶ鑑賞授業や、生活に関連の深いデザインの授業などを通して、美術への関心を高めます。



中央小学校
「ふれあい文化教室」

ふれあい文化教室

児童生徒が、直接和楽器に触れ、伝統芸能や伝統音楽を体験しながら、古来より日本人に伝わる「心のあり方」や「美意識」などを学んでいます。

地域のみんで・・・

地域子ども教室

自治公民館や空店舗などを活用して地域の大人たちが子どもの居場所を作り、平日は読書や音遊び、地域の方のおしゃべり、週末は、自然観察やグラウンドゴルフ、流しそうめんなど、子どもからお年寄りまで地域のみんなが集まって交流する様々な体験活動を行っています。



地域子ども教室
「五代若松原地域ふれあい」



うつのみや文化の森での自然観察会

自然の中で・・・

うつのみや文化の森で体験事業 森のアトリエ

公園内の竹や小枝を使って小枝のモビールや竹の楽器、ランプシェードなどを、芸術家気分ですごい思いの作品を作ります。



つるや小枝を使ったリース

自然観察会

四季折々の野原の草花や、野鳥、昆虫の観察をしています。

最近感動したことはありますか？

日常生活の中で人とのふれあいや会話、読書を通じた未知の世界、自然の中の草花の成長や風のざわめき、歴史的建造物や美術作品から感じる人の創造的な心などを感じて、心の感性を養う様々な体験をしてみませんか。

歴史を感じて・・・

歴史や文化は、知的欲求を満たすだけでなく、ロマンをかきたて、想像力を磨きます。ふるさとの歴史や多種多様な文化を味わってください。

昔の宇都宮へタイムスリップ！ とびやま歴史体験館・うつのみや遺跡の広場・旧篠原家住宅

子どもを対象に歴史体験事業や各種の歴史イベントを開催しています。とびやま歴史体験館には、いつでも参加できる12の体験メニューがあります。



親子文化財めぐりでの
八幡山公園のクスノキ
(市指定天然記念物)の観察



とびやま歴史体験館での
古代火おこし体験



「みやこ」

「宇陽丸」

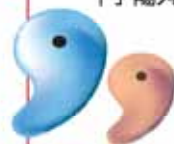
宇都宮の歴史と文化財
がわかるホームページ
があります

<http://61.194.63.139/ext/>

少年忍者「宇陽丸」とチビツクの「みやこ」がナビゲートする、子どもにもわかりやすいホームページです。用語解説や質問コーナー、写真やパンフレットのダウンロード、イベント紹介など盛りだくさんです。ふるさと宇都宮の良さを味わってください。

文化財めぐり

市内の文化財を解説ボランティアのガイドで巡る人気事業です。子どもから大人まで参加できます。特に夏休み中に実施する「親子文化財めぐり」は、家族みんなで文化財を見てまわり、勾玉(まがたま)づくりなどの歴史体験も行います。



イマジネーションの世界へ・・・

本との出会いで広がる世界があります。現在・過去・未来・未知の世界を興味の盡くま体験します。

子どものうちから本と親しもう！ おはなし会・おはなし玉手箱

図書館では0歳児の親子、1・2歳児の親子、小さい子、小学生を対象に、読み聞かせや案話によるおはなし会を開催しています。



市立図書館のおはなし会

声の図書・点字図書

視覚が不自由な方も読書を楽しむことができるように、専任員が声の図書や点字図書を作成しています。



音訳・点訳専任者

読書活動を応援します 図書館司書によるレファレンス(調査相談)

気持ちをリフレッシュしたい、郷土の歴史や人物を調べたいなど、皆さんの様々な目的にあった本をお勧めすることができます。図書館司書がお手伝いしています。



たくましさ

健康的な生活をおくるには、栄養バランスのとれた食事を規則正しくとり、自分に合った運動を日常的に続けることが大切です。私たち一人一人が、たくましい「宮っこ」であるために、楽しいスポーツと食育に取り組んでみてはいかがでしょうか。

よく食べ、よく遊び、よく眠ろう

規則正しい生活をするにより、望ましい生活習慣が身に付きます。また、友だちとかがわりながらいろいろな体験をすることにより、思いやりや頑張る力など、たくましい心と体が育ちます。



宇都宮市立西保保育園での給食

「あ～あ おなかすいた！」
「みんなでたべるとおいしいね。」
園児の元気な声が聞こえてきます。

マラソン大会で体力づくり

日頃のトレーニングの成果を、宇都宮マラソンで試します。秋色に染まった沿道を走って、心も体もリフレッシュしましょう。



第20回宇都宮マラソン大会
(清原工業団地)

昨年11月の大会では、多くの参加者が、力走しました。

冒険活動センターで自然体験を

里山の豊かな自然の中で、「自ら遊び・学び・鍛える」体験を通じて、自然に対する理解が深まります。また、人とのふれあいの大切さを感じられます。



冒険活動センターでのカヌー体験

「気持ちを含わせて 右・左・右・左！」
自然体験によりたくましさはぐくまれます。

健康な体を作ろう

学校では、給食の時間や各教科等の時間に、学校栄養職員も参画して食に関する指導を行っています。



豊郷中央小学校での家庭科の授業

子ども一人一人が栄養のバランスを考えて献立を作りました。

をはぐくもう

食育についての理解を深めよう

市民に食育の重要性を伝え、啓発を図るため、平成18年10月1日にマロニエプラザにおいて「第1回うつのみや食育フェア」を開催しました。服部幸應先生から、家族で食卓を囲むことや安全な食を選ぶ力、食事マナーなどについての講演がありました。食育への理解を深めるため、このようなイベントにも参加しましょう。



食育への関心を高めましょう。

服部先生の講演
「キレる子どもと現代の食生活」

ニュースポーツでもっと健康に

グラウンドゴルフ、ベタンク、ゲートボールなど、今ではいろいろなスポーツが、地域で盛んに行われています。



グラウンドゴルフで健康づくり
(原坂運動場)

スポーツを通して、人の輪も広がります。

地区代表で市民大会に参加しよう

軟式野球やバレーボール、バドミントン、ソフトテニスなど、13競技18種目が、平成18年10月～11月にかけて、市内各会場で開催されました。本年度は、豊郷地区がみごと総合優勝を飾りました。また、平成19年度においても10月～11月に地区対抗戦で開催しますので、地区代表の一員になって、市民体育大会にご参加ください。



高原球場での軟式野球大会

大会を通じて自らの体力の向上が実感できます。



市体育館でのバレーボール大会

コラム

内閣総理大臣賞受賞

宇都宮市は、「友遊いすみクラブ」「体育指導委員」「健康づくり推進員」などによる日々の活動を通じて、地域で健康体力づくりを、積極的に推進している自治体として、「平成18年度体力づくり優秀組織 内閣総理大臣賞」を受賞しました。

今後とも、地域スポーツクラブの設立支援や指導者を対象とした各種研修会の開催、健康やスポーツに関する各種情報の提供など、市民の皆様の声聞きながら、スポーツの振興と健康づくりに向けた様々な事業に取り組んでいきます。



内閣総理大臣賞の盾